

ス

○丹下政府委員 今回御承諾ヲ求メテ居リ

マス所ノ昭和九年度第一豫備金支出外六件ニ付キマシテハ、既ニ本會議ニ於テ大體ノ御説明ヲ申上ゲテアツタノデアリマスルガ、

茲ニ委員會ノ開カレルニ當リマシテ、重ネテ全體ニ互ル一應ノ御説明ヲ申上ゲテ見タ

イト思ヒマス、昭和九年度ニ於テハ一般會計第一豫備金ヨリ六百萬圓、同ジク滿洲事

件第一豫備金ヨリ千萬圓、特別會計第一豫備金ヨリ五百六十六萬圓、同ジク豫備費ヨリ

千四十九萬餘圓、合計三千五百五十五萬餘圓ヲ支出致シタノデアリマス、次ニ昭和十年

四月十七日ヨリ同年十二月十四日ニ至ル間ニ於テ、一般會計第二豫備金ヨリ千九百二

萬餘圓、特別會計第二豫備金ヨリ三百三十四萬餘圓、合計二千二百三十六萬餘圓ヲ支

出致シタノデゴザイマス、右ハ孰レモ豫備

金或ハ豫備費ノ豫算ノ範圍内ノ支出デアリマス

尙ホ昭和十年七月十三日ヨリ同年十二月十四日ニ至ル間ニ於テ、特別會計豫備金外

ニ於テ、其歲計剩餘金ヲ以テ豫算外ノ支出ヲ致シタモノガ百八十二萬餘圓アリマス、

ニ説明致シテアリマスガ、尙ホ御質問ニ依リマシテ申上ゲルコトニ致シマス、一應ノ御説明ハ之ニ止メテ置キタイト存ジマス

○金光委員長 ソレデハ關稅ニ關シテ御質問ヲ御願致シマス——武田君

○武田委員 關稅ノ中デ帶鐵ト「アルミニウム」ノコトラ、少シ伺ヒタイノデアリマスガ、先ヅ「アルミニウム」ノ方カラ伺ヒタイ、此御説明ニ依リマス云フト「アルミニウム」ハ從來我國ニ生産ガナイ爲ニ、稅ガ輕イ稅デアツタノデアルガ、最近我國ニ「アルミニウム」ノ生産ガ出來ルヤウニナツテ、ソレニ軍需工業ナドニ重要ナ金屬デア

ルカラ、之ヲ自給自足セシムル意味ニ於テ關稅ヲ御上ゲナサルト云フコトデアリマスガ、是ハ大體ニ於テ吾々モ洵ニ結構ナコトダト思ヒマスガ先ヅ簡單ナコトヲ二三承ッテ見タイノデアリマス、我國ノ「アルミニウム」ノ消費高ハ、ドノ位デアアルカト云フコトラ、先ヅ第一ニ承リタイ、ソレカラ從來外國カラ輸入サレテ居ル數量ハドノ位デアツカト云フコトラ、先以テ承リタイト思ヒマス

○谷口政府委員 只今ノ「アルミニウム」ノ輸入ノ額デゴザイマスガ、是ハ全體デ昭和十年ニ於テ一万四千噸、約二千萬圓ノ輸入ニナツテ居リマス、大體八年十年ト見マシタ所デ、累年増加シテ行クヤウナ傾向デゴザイマシテ、十年ニハ大體二千萬圓デス、其中デ主ナルモノハ「アルミニウム」ノ塊、錠等デゴザイマシテ、其次ガ屑等ノモノガ多イ順番ニナツテ居リマス

○小金政府委員 本邦「アルミニウム」ノ需要額ニ付テ御答致シマス、最近ハ大體ニ於キマシテ、コロ兩三年間ハ一万噸前後ニナツテ居リマス、昭和十年ノ「アルミニウム」ノ需要額ノ推定ハ、是ハマダ正確ナ數字ハ出來マセスガ、約一万二千噸トナツテ居リマス

○武田委員 今政府委員ノ御答ハ、昭和十年度ニ於テ「アルミニウム」ノ輸入ハ一万五千噸デ、其金額ハ二千萬圓ト云フヤウナ御話デアリマスガ、又一方ノ政府委員ノ御説明ハ、需要ハ大體一万噸内外ダト云フヤウナ御話デアアルガ、ソレハ需要以上ノモノガ輸入サレタト云フコトニナルノデスカ、其邊ノ御調査ハ何ダカ變ニ思フノデスカ、ドウデセウカ

○小金政府委員 御尤デゴザイマス、其點ハ「アルミニウム」ガ本邦ニ出來始メマシテカラ、是ハ昭和九年ノ二月ニ初メテ製品ガ市場ニ出タノデアリマスガ、其後外國ノ

「カルテル」ガ、是ハ何時モ重要ナ鑛產品ノ製造ガ日本ニ始マリマス、歐羅巴ノ「カルテル」ナリ或ハ先進工業國ガ打ツ手デアリマシテ、安値ヲ出シタリ其他コチラノ商人ガ買煽ルト云フヤウナ傾向ガアリマスノデ、見越シノ「ダンピング」デハアリマセヌケレドモ、値下リトソレカラ製品ガ相當澤山出テ參ルコトガ分リマス、見越シノ輸入ヲヤルモノデスカラ、ソレガ相當多額ニナル、斯様ニ考ヘテ居リマス、ソコデソレダケノ大體輸入調ニ上リマシタ數字ト、吾吾ノ方デ豫想致シマス所ノ需要數ノ數字ト云フモノニ喰違ヒガ出來テ來タモノト、斯様ニ心得テ居リマス

○武田委員 ソレデ大體其點ハ分リマシタガ、私ノ承知シテ居ル所デハ、日本ノ「アルミニウム」ハ化學的ノ分析ニ於テハ、立派ナ物ガ出來テ居ルサウデアリマスガ、之ヲ物理的ニ試験スルト、外國品ニ匹敵スルモノハマダ出來テ居ナイヤウニ聞イテ居リマス、若シ左様ニ致シマス、御承知ノ通りニ軍需工業用トシテモ取扱ハレマスガ、一面ニ於テハ食器・洗面器其他ソナ風ナ日用ノ必需品トシテ、使ハレテ居ル部分モアリマスガ、實際國民ノ生活ニ直グ影響スルト云フヤウナコトハナイデセウカ、ソレ

等ノ點ニ付テモ政府ニ於テハ相當調査ニ
ナツテ居ルデアリマセウガ、現在日本ニ出來
テ居ル「アルミニウム」ハ、外國品ト較ベテ
化學的ノ分析ノミナラズ、物理的ノ試験ニ
於テモ負ケナイ確信ガアルカドウカ、其點
ノ御調査ノ次第ヲ承リタイト思ヒマス

○小金政府委員 我國デ生産サレテ居リマ
ス「アルミニウム」ノ品質ニ付テハ、吾々モ
一番關心ヲ置イタ所デアリマシテ、化學的
ノ分析ノ結果ヲ申上ゲマス、是ハ恐ラク
世界ノ上等ナル品物ニ劣ナイ程度ニ、達
シテ居ルト考ヘテ居リマス、ソレカラ物理
的ノ試験デアリマスケレドモ、之ニ付テ陸
海軍ハ勿論ノコト、其他ノ需要者ニ於テモ
研究サレテ居ッテ、先ヅ大體此分デアレバ宜
イデアラウ、斯ウ云フ見込ヲ付ケテ戴イテ
居リマス、昭和十年ニ三菱ノ名古屋航空機
製作所デ發表セラレタ試験ノ結果ナドニ
依ッテモ、相當性能ガ宜シイヤウデアリマ
ス、是ハ三菱重工業株式會社名古屋航空機
製作所ナド、民間デモ結論シテ大體ニ於
テ宜シイト報告シテ居リマス、ソレカラ「ア
ルミニウム」ハ御説ノ通り、我國ニ於テハ最
モ重要ナル軍需品ノ材料デアリマスガ、其
外ニ日本ニ於キマシテハ外國ト模様ガ少シ
變ッテ居リマシテ、食用器具トカ其他ニ相當

澤山使ハレテ居リマス、是等ノ用途ニ供ス
ル爲ノ我國ノ「アルミニウム」モ、其性能ニ
於テ十分ナル成績ヲ持ッテ居ル、斯様ニ申上
ゲテ差支ナイト思ッテ居リマス

○武田委員 「アルミニウム」製造ノ原料
ハ、朝鮮ノ方カラ出テ居ルヤウニモ承ッテ
居リマスルガ、是ハ内地ニモアリマスカド
ウカ、其點ヲ承リタイ、主トシテ朝鮮デア
ルト云フ風ニ承ッテ居リマスガ、日本ノ現
況ハ輸入ヲ俟タズニ、自給自足ノ出來ル狀
態デアリマスカドウカ、其點ヲ一ツ伺ヒタ
イ

○小金政府委員 「アルミニウム」ノ原料
ハ、從來ハ「ボーキサイト」——粘土ノ一種
ダサウデアリマスガ、「ボーキサイト」ニナッ
テ居リマスガ、我國ニ於テハ朝鮮デ產出サ
レマス明礬石ヲ原料ト致シマシテ「アルミ
ニウム」ノ原料タル「アルミナ」ヲ製法ヲ發
明シタノデアリマスガ、今後化學ノ非常ナ
進歩ヲ見タ曉ニ於キマシテハ、我國ノ粘土
ノ中カラ、サウ云フモノガ採レルカモ知レ
マセスケレドモ、今日ノ狀態ニ於キマシテ
ハ、先ヅ産業トシテ内地デ原料ヲ得ルト云
フコトハ、マダ見込ハ附イテ居リマセス、
ソレカラ朝鮮ノ原料ノ模様ヲ申上ゲマス
ト、是ハ一ツノ明礬石ト申シマスル石カラ

採ッテ居ルノデアリマスガ、其埋藏量ノ如キ
モ相當澤山アルモノト推定サレテ居ルヤウ
ニ聞イテ居リマス、五十年、百年ノ後迄ア
ルト云フ計算ヲ立テラレテ居ルヤウニ聞イ
テ居リマス

○武田委員 「アルミニウム」ノ製造業者
ハ、餘リ數ガ多クナイヤウニ承知シテ居リ
マスガ、數ガ餘計ナイカラト言ッテ、ソレヲ
保護スルコトハ如何ト思ヒマスガ、我國ノ
産業上必要ナラバ勿論差支ナイノデアリマ
スケレドモ、大體下ノ位ノ會社數デ之ガ製
造サレテ、大體ソレガドンナ風ニナッテ居リ
マスカ、其生産ノ狀況ヲ御説明願ヒタイト
思ヒマス

○小金政府委員 我國ニ於キマシテ「アル
ミニウム」ノ生産ヲシテ居リマスモノハ、
日本電氣工業株式會社デアリマス、是ハ年
產約六千噸乃至七千噸ノ能力ヲ持ッテ居リ
マシテ、今ハ年六千噸位ノ見當デ操業シテ
居ルト思ハレマス、是ハ昭和九年ノ一月カ
二月カラ操業ヲ開始シテ居リマス、次ニ
日滿「アルミニウム」株式會社デアリマス
ガ、是ハ日產五噸、年產ニシテ約千五百噸
位ノ能力ヲ以テ事業ヲ開始シテ居リマス、
是ハ昭和十年七月カラ製造ヲ開始シテ居リ
マス、ソレカラモウ一ツハ住友「アルミニ

ウム」製鍊株式會社デアリマス、是ハ本年
ノ三月カラ製造ヲ開始シテ居リマシテ、其
能力ハ年產一千五百噸、斯ウ云フ計畫ニナッ
テ居リマス、其外ニ日本「アルミニウム」株
式會社ト云フモノガ、臺灣デ企業ヲ開始シ
テ居リマシテ、昭和十一年ノ末ニハ製品ヲ
市場ニ出ス見込デアルト云フ報告ヲ得テ居
リマス

○武田委員 更ニ御伺シマスガ、今ノ需要
數量ノ約一万噸ト云フモノノ中、軍需工業
ニドノ位使ハレテ居リマスカ、又他ノ方面
ニハドノ位使ハレテ居リマスカ、之ヲ承リ
タイ、ソレカラ軍需工業以外ニ使ハレテ居
ルモノノ用途ヲ、極ク大體デ宜シウゴザイ
マスガ承リタイト思ヒマス

○小金政府委員 軍需工業ニ使ハレテ居リ
マスノハ、茲デ私一寸申上ゲル自由ヲ持ッテ
居リマセスカラ、其點ヲ御諒承ヲ願ヒマス
「アルミニウム」ノ我國ニ於キマス用途別
ノ大要ヲ申上ゲマスルト、飲食用器具ノ用
ニ供スルモノガ相當多量ヲ示シテ居リマシ
テ、四割以上ト云フコトニナッテ居リマス、
ソレカラ其次ガ線ノ類ニ使ハレルモノデア
リマスガ、之ガ約四％強、ソレカラ輕金屬
ノ製造用ニ使ハレルモノガ六・七％位、ソレ
カラ箔ニ五％位、粉末用ニ四％強、其他ノ

用途ト、斯様ニナッテ居リマス

○武田委員 只今ノ御説明ノ中ニ食器類ニ四〇％使ハレテ居ルト仰シヤル意味ハ、ソレハ一万疋ニ對スル四〇％ト云フ意味デスカ、ドウ云フ意味デスカ、其點ヲ伺ヒマス

○小金政府委員 ソレハ約一万疋乃至一万二千疋ノ金需要額ノ四〇％位、斯ウ云フノデゴザイマス

○武田委員 尙ホ續イテ承リタイト思フノデアリマスガ、近來錆ナイ鐵ガ日本デモ大分製造ガ出來テ居ルヤウニ承ッテ居リマスガ、ソレ等ノ食器其他ニ對シテハ「アルミニウム」ノ代リニ「ステンレス・スチール」デ代用ガ出來ルカト思フノデアリマスガ、若シ「アルミニウム」ノ自給自足ヲスル爲ニ、ソレニ相當ノ保護稅ヲ課スト云フコトデアリマスナラバ「ステンレス」モ軍需工業其他ニモ重要ナル金屬ダト思フノデアリマスガ、是等ニ對スル保護ノ方法ニ付テノ御意見ハ如何デアリマスカ、此點ヲ承リタイト思ヒマス

○谷口政府委員 只今ノ武田サンノ御尋ハ「ステンレス」ノ例デアリマスガ、「ステンレス」ハ大體現在デ二割見當ノ税金ガ課ッテ居リマス、アルミニウム」ノ税金モ大體二割ト云フコトヲ目安ニシテ居リマシテ、同程

度ノモノガ「ステンレス」ニモ課ッテ居ル、斯ウ云フ關係ニナッテ居リマス

○武田委員 尙ホ續イテ承リタイノデスカ、只今輸入ノ「アルミニウム」ノ一疋ノ代價ハ、幾ラニナッテ居リマスカ、又内地ノ販賣價格ハドレ位デアリマスカ、ソレヲ一ツ承リタイ、ソレカラ「ステンレス」ノ方モドノ位ノ値段、外國ノ輸入品ハドノ位、内地ノ販賣價格ハドノ位デアリマスカ、ソレ等ノ點ヲ承リタイ

○谷口政府委員 「アルミニウム」ノ方ハ、昭和十年ノ輸入ノ平均價格ト云フノヲ出シテ見マス、塊ノ方デ大體一疋當リ千四百八十圓位デゴザイマス、ソレカラ「ステンレス」ノ方ノ平均ト云フ御尋デアリマスガ、是ハ一寸調べマシテ申上ゲルコトニ致シマス

○武田委員 モウ一ツ伺ッタ内地ノ販賣價格ノ點モ、一ツ承リタイ、内地ノ生産費ノ販賣價格……

○小金政府委員 内地ノ「アルミニウム」ノ塊ノ市價相場ヲ申上ゲマス、是ハ商工省ノ統計課デ調べタモノデスカ、是ハ最近ノ市價ト云フモノガ千六百七十圓カラ千六百九十圓位、最近ノ値段ハ、サウ云フコトニナッテ居リマス

○武田委員 輸入品ノ價格ガ千四百五十圓デ、内地ノ販賣價格ガ千六百圓ダト致スト、非常ニ其間ニ開キガアルヤウデスカ、左様ニ高イ商品ガ内地ニ入ルト云フコトハ、一寸受取レナイノデアリマスガ、其邊ハドウデアリマセウカ

○谷口政府委員 一千四百八十圓ト申シマシタノハ、之ニ現在ノ税金ガ課リマシテ、サウシテ内地ノ市價トノ見合ヲナス譯デアリマス、現在ノ所ハ外國カラ參リマス品物ノ方ガ、大體ニ於テ安イヤウナコトニナッテ居リマス

○武田委員 只今ノ御説明ハドウモ私ニ一寸呑込メナイノデアリマスガ、外國カラ入ル物ハ千四百五十圓ノ品物デアルノニ、内地ノ販賣價格ガ千六百圓ト云フコトナラ、使ヒ切レル譯ハナイト思フノデアリマスガ、ソコノ御説明ガ一寸私ニ呑込メナイノデアリマスガ、若シ千四百五十圓ノ輸入價格デモ、ソレハ販賣サレルト云フコトデアルト、品質ノ上ニ於テ非常ニ相違ガアルト見ナケレバナラス、一寸理窟ガ合ハナイヤウニ思フノデアリマスガ

○小金政府委員 只今私ガ千六百七十圓位ト申シマシタノハ、是ハ實ハ正確ノ數字デナイト申上ゲタイノデアリマス、ソレハ「アルミニウム」ハ「パーセンテージ」ニ依リマシテ非常ニ價格ノ開キガアリマス、九九・五ヲ標準ニ致シマス場合ト、九九・三ヲ標準ニ致シマス場合ニ於テ、相當開キガアリマシテ、其一例ヲ申上ゲマス、九九・五ノ「アルミニウム」ノ値段ト、九九・五％ノ「アルミニウム」ノ値段トノ間ニハ、既ニ一疋ニ付テ二百圓位ノ開キガアリマスノデ、只今私ガ申上ゲマシタノハ、雜然ト市場ニ唱ヘラレテ居リマス値段ヲ羅列シタノデアリマシテ、「パーセンテージ」ガアリマセヌノデ、是ハ極テ不正確ナ値段デアルト云フコトヲ、御許シヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレデ我國ニ於キマス「アルミニウム」ノ今マデノ需要ノ大部分ガ、最近マデ「アルミニウム・カルテル」ノ供給シテ居ッタモノデアリマシテ、其値段ヲ申上ゲマス、昭和十一年ノ、詰リ今年ノ一月、二月、三月ニハ、千七百三十圓カラ四十圓近イモノト云フ風ニナッテ居リマス、是ハ九九・五％ト云フコトニナッテ居リマス、ソコデ吾々共ガ市價ノ統計ヲ取リマスノニ、「パーセンテージ」ノ出テ居ナイモノニハ非常ニ困リマスノデ、唯徒ニ數字ヲ列舉スルニ止マル場合ガアリマスカラ、其點ヲ御諒承願ヒマス、只今申上ゲマシタノハ、九九・五％ノ「アルミニウム・

カルテル」ノ發表シテ居ル相場デアリマシテ、現實ハ是ヨリ非常ニ安ク販賣サレル、其値段ハ今此處デ的確ニ申上グラレマセヌケレドモ、安イト云フコトハ事實デアリマス

○武田委員 サウシマスト、先程輸入「アルミニウム」ハ千四百五十圓ト仰シヤッタノハ、是ハ多分平均ノ値段デアラウト思フノデスガ、假ニ平均ト致シマシテモ、「パーセンテージ」ニ依ッテ違ッテ、高イ物ト安イ物ト、今御話ノ如ク二百圓位ノ差ガアルト致シマシテモ、千四百五十圓ト云フ平均ノ値段ガ出ナイヤウニ思ヒマスガ、千四百五十圓ト云フノハドウ云フ所カラ出タ數字デアリマセウカ

○谷口政府委員 先程申上ゲマシタノハ千四百八十圓ト申上ゲタノデアリマスガ、千四百八十圓ト申シマス數字ハ、今仰セノ通り一年間ノ輸入數量ヲ以テ輸入價額ヲ割リマシタ其平均ノ數字デアリマス、ソレデ統計ニ現レテ居リマス數字ト申シマスモノハ、御承知ノ通り沖著ノ値段デゴザイマシテ、之ニ税金ガ課カリマス、又相當陸揚ノ諸掛リガ掛リマス、又市場ニ出マスマデニハ、仲ニ立ツ者モ相當ノ利潤ト云フモノモ要リマスノハ御承知ノ通りデゴザイマスカラ、

此平均價格ト云フモノヲ申上ゲマスト、ドウモ下値ニ出テ來ルヤウナ譯ニナルノデアリマス、一千四百八十圓ト申シマスノハ只今申シマシタヤウナ輸入ノ際ノ、沖著ノ値段ノ平均ト云フ譯デアリマス

○武田委員 「アルミニウム」ハソレ位ニ致シマシテ、帶鐵ノコトヲ簡單ニ伺ヒタイノデアリマスガ、此帶鐵ハ日本ノ工業界ニ極メテ必要ナモノデアルコトハ、申ス迄モナイノデアリマスガ、ソレヲ大體内地デ自給出來ルト云フヤウニ考ヘナケレバ、關稅ヲ引上ゲルト云フ理由ハナイト思ヒマスガ、ソレニ付テ帶鐵ノ輸入數量ハドウ位ニナリマスカ、又内地デ現ニ製造シテ居ル數量ハドウ位デアリマセウカ、又帶鐵ヲ生産スル所ノ設備ハ、ドウ位マデ生産シ得ル設備ガ出來テ居ルノデアリマスカ、ソレトモウ一ツハ、外國カラ輸出スル帶鐵ノ値段ト、内地ノ相場竝ニ生産費ノ關係ハ、ドンナ風ニナッテ居リマスルカ、其點ヲ承リタイト思ヒマス

○谷口政府委員 只今ノ帶鐵ノ點デゴザイマスガ、是ハ昭和十年ノ所デ約六萬噸ノ輸入デゴザイマス、金額ニ致シマシテ九百九十九萬圓ト云フコトニ相成ッテ居リマス、内地ニ於キマシテハ、是ハ生産ノ方ノ當局カラ

直接ニ御説明ガアルト思フノデアリマスガ、只今ノ所ニ於キマシテハ徳山鐵板株式會社・日本亞鉛鍍鋼業株式會社等ニ於テ生産サレマシテ、其他日本製鐵・日本鋼管等ニ於キマシテモ、生産ノ計畫ヲ具體的ニ進行中デアルト云フコトニ相成ッテ居リマス

○小島政府委員 日本ニ於キマスル帶鐵ノ生産ノ規模ニ付テ御尋デゴザイマスルガ、大體只今日本亞鉛鍍鋼業・徳山鐵板兩社各六萬噸ノ生産能力ヲ持ッテ居リマスガ、更ニ只今他ノ政府委員ノ述べマシタヤウニ、日本製鐵ニ於テモ、大體同規模程度ノ設備ヲ計畫中デアルト考ヘテ居リマス

○谷口政府委員 只今一寸御答漏レノ點ガアリマシタガ輸入ノ價格ノ點デアリマスガ、是ハ帶鐵ニ付キマシテハ種類ガ非常ニ多樣ニ互ッテ居ルノデ、一概ニ申上ゲルコトガ一寸難カシヤウニ思フノデスガ、唯平均ノ價格ト致シマシテハ、炭素ノ澤山含マレテ居リマスル高炭素ノ「リボン」、此「リボン」ト云フノハ適當リニ致シマシテ一千圓ヲ超エテ居リマス、其他種類ニ依リマシテ此幅ノ廣イ帶鐵ノ如キハ、適當リニ致シマシテ百二十五圓ト云フヤウナモノモゴザイマシテ、種類ニ依ッテハ多樣ニ互ッテ、一概ニ帶鐵ノ平均ノ値段ト云フコトハ、一寸申上

ゲルノガ難カシヤウナ關係ニ相成ッテ居リマス、ソレカラモウ一ツ先程「ステンレス・スチール」ノ平均ノ適當リヲ御質問ニ相成リマシタガ、取調べマシタ所ガ「ステンレス・スチール」等ノ特殊鋼ハ大體九百圓ト云フコトニ相成ッテ居リマス、併セテ御答シテ置キマス

○武田委員 只今ノ御説明ノ「ステンレス・スチール」ノ九百圓ト云フ御答ハ、是ハ輸入品ガ九百圓デアルト云フコトナノデスカドウデスカ、販賣値段デスカ

○谷口政府委員 ソレハ先程申上ゲマシタヤウニ、輸入ノ數量ヲ以テマシテ、輸入ノ價格ヲ割リマシタ沖著ノ裸値段デゴザイマシテ、販賣値段デハゴザイマセヌ

○武田委員 モウ一ツ承リタイノデスガ、「アルミ」ノ問題デス、日本デ昨年アタリ新聞デ承知シタノデアリマスガ、滿鐵デモ「アルミニウム」ノ製造ヲ計畫サレテ居ル、之ニ對シテ日滿「アルミ」、是ハ「アルミニウム」専門ノ會社デアリマスガ、ソレデ日滿「アルミ」ト滿鐵ト「アルミニウム」ノ製造方法ニ二ツアルト云フコトガ新聞ニ書イテアリマシテ、ソレヲ協同シテヤラウト云フヤウナ話ガ、遂ニ意見ガ違ッテ別々ニナッテ、滿鐵ハ滿鐵、日滿「アルミ」ハ日滿「アルミ」

ト別々ニヤルト云フコトニナッテ、日滿「アルミ」ハ富山縣ノ方面ニ工場ヲ置イテヤッテ居ルト云フコトヲ承ッテ居ルシ、滿鐵ハ何レ滿洲内デ「アルミニウム」ノ製造ニ携ハルコトニナルト云フヤウニ承知シテ居リマシマス、左様ナ場合ニ滿洲ノ「アルミニウム」ヲ日本ニ輸入スル場合ニハ、勿論此關稅ニ依ッテ關稅ヲ負擔シナケレバナラスデアラウト思ヒマスルガ、左様ナ場合ニ日滿經濟ノ提携ノ上ニ於テ、若シ此關稅ヲ課ケラレルト云フコトニナルナラバ、滿鐵ノ「アルミニウム」ノ製造ハ非常ニ困難ニナリハセスカト云フヤウニモ考ヘラレマス、又日滿兩國ハ政治的ニハ勿論、經濟的ニモ一體トナラナケレバナラス場合ニ於テ、殊ニ「アルミニウム」金屬ハ軍需工業ニ於テモ最モ必要デアルト云フコトハ、是ハ御説明ノ通りデアリマス、左様ナ場合ニ於テ滿鐵ノ製造スル「アルミニウム」ニハ此關稅ヲ課ケルト云フコトニナッテナラバ、日滿ノ經濟的ノ提携、竝ニ「アルミニウム」ヲ豐富ニ我國ニ持つト云フ點ニ於テ、何カソコニ矛盾ヲ生ジヤシナイカト云フ風ニモ考ヘラレマシマス、其點ハドウナルノデスカ

○谷口政府委員 此「アルミニウム」ノコトニ關聯致シマシテ、滿洲トノ關係ノ只今ノ

仰セハ洵ニ御尤モデアアルノデアリマシマス、滿洲デ此「アルミニウム」ノ工業ガ起サレルヤニモ傳ヘラレテ居リマスルケレドモ、是ハ内地ノ「アルミニウム」生産需給關係等ヲ能ク見タ上デ、何レ滿洲デ出來ルニ致シマシテモ、滿洲デ「アルミニウム」ノ工業ヲ起スカ起サナイカラ決メルコトニナルト思ヒマス、假リニ滿洲ニ於キマシテ「アルミニウム」ノ工業ガ起ルト云フコトニナリマシタ場合ニ於キマシテ、其場合ニ於ケル所ノ生産費ト云フヤウナモノガドウ云フヤウナコトニナリマス、一寸マダ確カナル見究メハ立タナイカト思フノデアリマス、其出來マシタ場合ニ於キマシテ「アルミニウム」ニ對シマスル關稅ト云フモノガ滿洲カラ入りマスル「アルミニウム」ニ取りマシテ、ドノ程度ノ影響ヲ及ボスコトニナルカト云フヤウナ點ニ付キマシテハ、日滿兩國ノ關係モ勿論ノコトデアリマスルシ、又滿洲ニ出來マス所ノ「アルミニウム」ノ生産費、内地ノ生産ノ狀況ト云フヤウナ關係モ、其場合ニ立到リマシテカラ十分考ヘナケレバナラスト思フノデアリマシテ、若シ其場合ニ於キマシテ關稅ノ影響ト云フヤウナコトガ色々考ヘナケレバナラスト云フヤウナ事態ガ起リマシタナラバ、其場合ニ於キマシテ何等

カ適當ナ方法ヲ考ヘルト云フヤウナコトニ致シタイト、只今ノ所デハ考ヘテ居ルノデアリマス、日滿兩國ノ關係ニ鑑ミ、又此「アルミニウム」ノ滿洲ニ於ケル工業ノ生産ノ狀況ニ鑑ミマシテ、將來適當ニ考ヘルヤウナコトニ致シタイト思フノデアリマス

○武田委員 私はハ新聞デ承知シタダケノコトデアリマスガ、承ッテ居ル所ニ依レバ、今申シタヤウナ日滿「アルミニウム」滿鐵トノ協調ガ破レタ爲ニ、日滿ハ日滿デ製造ヲ開始シ、滿鐵ハ滿鐵デ「アルミニウム」ノ製造ヲ開始スル計畫デアルト云フ風ニ聞イテ居ルノデアリマスガ、或ハ私ノ間違デアリマスカドウデアリマス、其點ヲ伺ヒタイ、モウ一ツハ「アルミニウム」ノ原鑛ハ、滿洲ニ豐富ニアルノデアリマス、ドウデアリマスルカ、只今ノ御説明ノ中ニハ、此關稅ニ關スル點ハ、將來滿洲デ「アルミニウム」ガ生産出來タ場合ニ、其生産費ヲ考慮シテト云フヤウナ御話デアリマスガ、若シ原料ガ豐富デアルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、成程滿洲ノ「アルミニウム」ノ「コスト」ヲ下ゲルト云フ見込モアルデアリマセウガ、一面ニ於テ「アルミニウム」ハ私ノ申スマデモナク、是ハ原鑛ハ別ト致シマシテ、主トシテ安イ豐富ナル電力ガナケレバ、此

製造ハ出來ナイ譯デス、然ルニ日本朝鮮ニ於テハ電力ハ豐富デアリ、又極メテ安イノデアリマスルケレドモ、滿洲ニ於テハマダ動力ハ總テ火力デナケレバナラスノデアリマスルカラ、内地ヨリ安イ電力ヲ使フト云フコトハ、私ハ常識上アリ得ナイト云フ風ニ考ヘルノデアリマス、ソレデ一面ニ於テ、原鑛ハ非常ニ豐富デアッテ、非常ニ安イト云フコトデナケレバ、滿洲ニ於テ製造サレル所ノ「アルミニウム」ガ、内地ヨリ「コスト」ガ非常ニ安クナルト云フコトハ、常識上下ウシテモ考ヘラレナイノデアリマスガ、其邊ニ對スル御調査ガアリマシタラ一應承リタイト思ヒマス

○小金政府委員 日滿「アルミニウム」ト滿鐵ノ「アルミニウム」製造ニ關スル提携ノ問題ハ、私共ガ承ッテ居リマス所デハ、大體武田委員ノ仰シヤル通りニ、物別レト申シマス、手ヲ切ッテ居ルト申シマス、左様ナ狀態ニ在ルト聞イテ居リマス、ソレデ滿鐵ガ此「アルミニウム」ノ精鍊ト申シマス、製造ニ付テ研究ヲ始メマシタノハ、滿洲事變後相當力ヲ入レテ、ヤッテ居ルヤウデアリマスケレドモ、是ハ御案内ノ通り、最モ緊切ナル軍需品デアリマス爲ニ、日本ノ實力ノ範圍内ニ於テ、何トカ製造シナケレバナ

ラスト云フ問題ガ、内地ニ於テ此事業ヲ促進致サセマシテ、既ニ今日ノヤウニ、昨年度ニ於キマシテモ、中途半端ノモノデアリマシタガ、既ニ四千四百噸以上ノモノヲ生産シテ居リマスノデ、此事業ガ「フル」ニ働キマシタナラバ、一万噸、詰リ我國ノ需要ヲ十分ニ充シ得ルト云フ見込ガ附キマシタノデ、斯様ナ關稅定率法ノ改正案ヲ、茲ニ提出セラレタモノデアリマシテ、此點カラ見マス、滿鐵ノ方ノ企業如何ニ拘ラズ、斯ウ云フ稅率ヲ盛ッテ戴カナケレバ、強力ナル海外ノ「カルテル」ノ爲ニ非常ニ企業ガ脅カサレテ、動モスレバ安定性ヲ缺クト云フ點ニ重點ヲ置キマシタノデアリマシテ、滿洲ノ問題ニ付キマシテハ十分研究モシ、又考慮モ致シタノデアリマスガ、之ニ付テハ對滿事務局等トモ能ク步調ヲ合セテ、研究致シタノデアリマス、ソレデ滿洲ニ於キマス原料ハ、現在日本電工、住友等ガ使ッテ居リマス所ノ所謂朝鮮カラ出テ居リマス明礬石ト、全然異ナリマシタ大石橋カラ撫順ノ近傍、主ニアノ邊ニ在リマス所ノ礬土頁岩ヲ材料トスルモノデアリマシテ、礬土頁岩ノ既存狀態ニ付キマシテハ、相當多量ニアルト、斯ウ云フヤウナ報告ヲナサレテ居ル筋ガアリマス、唯此礬土頁岩ノ處理方法

ガ中々難シイノデアリマシテ、ソレニ相當人ガ掛カル、斯ウ云フ風ナ狀態デアルノデハナイカ、是ハマダ吾々ハ十分ナル調査報告ニ接シテ居リマセヌガ、左様ニ推定スルノデアリマス、ソレデ御説ノ通り「アルミニウム」ノ精鍊ト云フモノニハ、非常ナ電力ヲ使ヒマスノデ、電力ノ問題ガ非常ナ要點ニナルノデアリマシテ、唯滿鐵ト申シマスカ、滿洲デ此企業ヲ起シマス場合ニ於キマシテモ、此電力ノ問題ハ勿論重大ナル要素ニナルノデアリマスケレドモ、是ハ恐ラク滿洲デ若シ此企業ヲ起ストスレバ、撫順ノ粉炭、微粉炭ト申シマスカ、サウ云フモノヲ處理スル一手段トシテ、電力ヲ起シテ之ニ使フ、斯ウ云フ風ナコトニナルノデハナイカト、斯様ニ考ヘテ居リマスノデ、問題ハ如何ニシテ礬土頁岩ヲ「アルミナ」ニ變ヘルマデニ、安ク出來上ルカト云フコトノ問題ニ懸ッテ居ルヤウニ考ヘテ居リマス

○武田委員 最後ニモウ一ツ承リタイノデアリマスガ、是ハ問題ガ少シク大キクナリマスノデ、大藏大臣ノ御説明ヲ煩ハシタガ、便宜デアルノデアリマスルケレドモ、事實上事務當局ニ於テモ、是等ノ點ハ相當御調査ニモナリ、御考慮ニモナッテ居ルコトト思ヒマスルカラ、承ッテ置クノデアリマスカ、今一寸日滿「アルミ」ト滿鐵ノ「アルミ」製造ノコトニ關聯シテ承ッタ事柄デアリマスカ、將來我國ト滿洲國トノ經濟協定ト申シマスカ「ブロック」ト申シマスカ、兎モ角經濟的ニ一體トナッテヤラナケレバナラヌト云フ運命ニアルコトハ、是ハ申スマデモナイノデアリマスガ、ソレデ是ハ「アルミ」ダケノ問題デハナイ、總テノ滿洲ノ製造工業者ト、日本ノ製造工業者トノ間ニ、ドウ云フ工合ニシテ協調ヲ保ツカト云フコトハ、極メテ重大ナ問題デアアルノデアリマスカ、之ヲ滿洲ニ盛ニ日本カラ資金ヲ投ジテ、色々ナル工業ヲ獎勵致シテモ、日本ノ生産品ヲ保護スルガ爲ニ關稅ヲ課ケテ、滿洲ハ外國デアアルカラ關稅ヲ課ケルト云フコトニナリマス、日本ガ滿洲ニ於ケル工業ヲ獎勵スルト云フ意味ト、ソコニ矛盾ヲ生ズルヤウニ思フノデアリマスガ、是ハ政策ニ關スルコトデアリマスカ、餘リニ的確ナ御答辯ヲ得ルコトハ困難デアルカモ知レマセヌガ、ザックバランノ事務當局トシテノ御調査ノ點ヲ、ソレ等ノ點ニ付テ承リタイト存ジマス

○谷口政府委員 只今武田サンノ御話ノ點デアリマスガ、日滿兩國ノ此經濟ノ關係、特ニ此工業關係ニ付キマシテハ、重大ナル諸種ノ點ヲ考慮シナケレバナラヌノデアリマシテ、吾々今回「アルミニウム」ノ關稅ノ問題ニ付キマシテモ、先程カラ御話ニナリマシタヤウナ點ニ付キマシテハ、實ハ事務當局トシテ少カラズ頭ヲ悩マシタコトモ多クアッタノデアリマス、洵ニ此問題ハ極メテ重要ナル問題デアリマシテ、只今御話ノ點ハ、其問題ノ解決ヲ致シマス上ニ付キマシテ、極メテ適切ナル御示唆ニ當ンデ居ルノデアリマシテ、吾々モ大體サウ云フヤウナ御考ヲ能ク參考ト申シマスカ、サウ云フ點ヲ能ク心ノ中ニ入レマシテ、將來此種ノ問題ノ起リマシタ時ニハ、一々具體的ニ能ク慎重ニ研究スルト云フコトニ、致シタイト考ヘテ居リマス

○武田委員 今御質問申上ゲタ點ニ於テハ政府トシテ御苦心ノアルコトハ、御察シ致シテ居リマス、併ナガラ今ノ御答辯ノ如ク、問題ノ起キタ時ニ、例ヘバ「アルミニウム」ノ問題ガ起キタト云ッテ其問題ヲドウスルカ「パルプ」ノ問題ガ起キタト云ッテ其問題ヲドウスルカト云フヤウニ、事毎ニ一ツ問題ガ起キタカラト云ッテ、其問題ヲドウスルカト云フヤウナコトヲ考ヘズニ、全體ニ於テ日本内地ノ工業ト滿洲ノ工業トノ間ニ、ドウ云フ連絡、調整ヲスルカト云フコトハ、

是ハ極メテ重大ナ問題デ、其根本方針ガ決マラナケレバ、私ハ滿洲ニ於テ工業ヲ獎勵スルト云フヤウナコトハ、其問題ガ解決シナイデハ出來ナイノデハナイカト云フ風ニ、考ヘルノデアリマス、而シテ此問題ハ今ニ始マツタ問題デハナイノデアリマス、滿洲ガ事實上ノ日本ノ經濟勢力ノ下ニ入ッテ以來ノ問題デアッテ、政府ト致サレテハ特ニ此問題ニ向ッテハ、何等カノ御決定ガナケレバナラス筈ダト思ヒマス、馬場大藏大臣ノ御説明ニ依リマシテモ、今後成ベク滿洲ノ企業ニ對シ資金ヲ投資スルコトニ向ッテハ、政府ハ力ヲ添ヘルトマデ仰シヤッテ居ルノデアリマス、日本ノ資金ヲ滿洲ニ入レテ、滿洲ノ工業ヲ盛シニスルコトニ政府ガ力ヲ入レルト仰シヤル以上ハ、今ノ根本問題ヲ解決シテ掛ラナケレバ、是ハ出來ナイ筈ト思フノデアリマス、是ハ最初ニ申上ゲマシタ通り、大藏大臣ニ承ラナケレバナラス問題デアリマスケレドモ、事務當局ト致サレマシテモ、是ハ今日ニ始マツタ問題デハナイノデアリマスカラ、十分ニ御考慮ニナリ、何等カノ御考ガアリサウナモノノヤウニ思フノデアリマス、今事務當局ノ御意見トシテ承ツタカラト言ッテ、ソレヲ押ヘテ他日政治上ニドウ斯ウト云フヤウナ考デ、實ハ聞

イテ居ルノデハナイノデアリマス、現ニ「アルミ」ノ問題ノ如キハ、現在目ノ前ニアル問題デアリマスシ、ノミナラズ更ニ「バルブ」ノヤウナ問題モ、是ハ遠カラズ——ドコロデハナイ、「バルブ」モ近イ内ニ生産ヲ開始サレルト云フコトヲ承ッテ居リマス、ソレカラ製鐵ノ問題モサウデアリマス、石炭ノ問題モアルト云フヤウナ譯デアリマスカラ、若シ御差支ナカッタラバ、ソレ等ノ點ニ付テ事務當局ノ確定的意見デナクテモ、コンナ方法ニデモシタラバ、其點ノ解決ハ出來ヤシマイカト云フヤウナ御考慮ガアリマシタナラバ、承ッテ置キタイト思ヒマス

○谷口政府委員 只今ノ御話ハ洵ニ其通りデアリマシテ、吾々ト致シマシテハ具體的ナ問題ニ關係致シマシテ、日滿兩國ノ關係ヲ考ヘマス時ニ、サウ云フ一々ノ問題デナシニ、根本的ノ原則ト云フモノガソコニ明確ニ樹立サレテ居リマシタナラバ、其原則ニ從ッテ一々ノ問題ヲ處理シテ行ケバ宜イノデアリマシテ、先ヅ根本ニ於テサウ云フ方針ヲ——明確ナル具體的ナ方針ヲ立テルト云フコトガ必要デアルト云フコトハ、全ク御説ノ通りデアリマス、先般來大藏大臣ニ於カレマシテモ、滿洲ニ對スル心持ヲ明確ニ表現サレテ居ルノデアリマシテ、根本

ニ於テハ滿洲ニ對シテ益能ク取計ッテ行クト云フ御方針ニハ、間違ハナイト思フノデアリマス、唯明確ナル方針ト申シマシテモ、問題ガ具體的ナ問題ニナリマス、適用ニ付キマシテ、又一々極メテ困難ナ問題ニ遭遇スルト云フノガ、從來ノ貧シイナガラノ經驗デアリマシテ、此色々内容ノ豐富ナ根本方針ト云フモノハ、關係ノ方面ニ於キマシテ能ク御相談ヲ致シタイト思フノデアリマス、唯吾々事務ニ關係致シテ居リマスル者ノ心持ト致シマシテハ、サウ云フヤウナ總テノ場合ニ適用ニナリマスヤウナ原則ヲ、先ヅ立テルト云フ方法モ一ツデハアリマスガ、二三具體的ノ問題ニ觸レマシテ、其問題ニ付テ色々思案ヲ絞ッテ參リマス内ニ、極ク實行のナ原則ニ出會フト云フ場合モアルノデアリマシテ、兩方ノ方面カラ、日滿ノ關係ヲ極メテ圓滑ニ、共存共榮ト申シマスカ、工合好ク參リマスヤウニ一層努力シタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○武田委員 是ハ事務當局ニ承ルコトハ無理カモ知レスノデアリマシテ、其程度ニ承ッテ置クヨリ致シ方ナイト思ヒマス、併シ此日滿兩國ノ關係ト致シマシテハ、色々ナ問題ガアリマセウケレドモ、殊ニ此製鐵關係ノ問題ハ差當リ——現ニ「アルミ」ノ問題ガ

アルガ如クニ、金屬製造ノ問題ガ差當リ是ハ起ル問題ダト思フノデアリマス、ソレ等ノ點ニ向ッテハ、餘リ其時々々ト云フヤウナ悠長ナコトヲ言ハズシテ、實際ノ問題トシテ速ニ何等カノ解決ノ方法ヲ講ジテ下サルコトヲ御願致シマス、ソレカラ序ナガラ、又是モ少シ大キナ問題デ、事務當局ニ承ルト云フコトハ、無理カモ知レマセスケレドモ、決シテアナタ方ノ御答辯ヲ、他日ノ言質ニスルト云フ意味デハナイノデアリマシテ、斯ウ云フコトノ御研究ガアルカドウカト云フダケノ意味デ、承ルノデアリマスガ、輸入關稅ハ内地ノ産業ヲ保護スルト云フ意味ノミデ、輸入關稅ヲ總テ御考ヘニナッテ居リマスカ、或ハ又ソレハ勿論根本ノ問題デアルニ相違アリマセスガ、收入ヲ増スト云フ意味デ、關稅ヲ新ニ設定シ、若クハ増課スルヤウナ場合ガアリ得ルデアリマセウカ、ドウデアリマセウカ、ソレ等ノ點ヲ一ツ伺ヒマス

○谷口政府委員 只今非常ナ大キナ問題ニ、御親切ナ御言葉ヲ添ヘテノ御質問デアリマスガ、此關稅ニ付キマシテハ、從來トモ内地ノ産業ヲ保護致シマス立場ヲ考ヘルト同時ニ、收入ト云フコトヲモ考ヘテ來タコトハアルノデアリマシテ、色々此關稅ガ

經濟事情ニ合フヤウニ致シマス云フコトノ關係ニ於テハ、産業保護ト云フコト以外ニ、國家ノ收入ト云フ立場カラモ、此問題ヲ研究スルコトガ出來ルヤウニモ考ヘテ居ルノデアリマス

○武田委員 同様ナコトデアリマスガ、輸出關稅ト云フモノハ、從來我國ニハナイノデアリマスガ、ソレ等ノ問題ニ付テモ、私ハ今日ノ貿易關係ハ、非常ニ諸外國ニ經濟「ブロック」ガ出來テ、我國ノ輸出品ヲ防止スルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、考ヘテ見ルベキ價值アル問題デハナイカト云フ風ニ、私ハ始終考ヘテ居リマス、現ニ「バーター・システム」ヲ採ッテ、亞米利加ト我國トノ間ニモ最近話合ガ、所謂紳士協約ト云フ名ノ下ニ出來タト云フコトニ聞イテ居リマス、是ハ色々手段ヲ採ラナケレバナラヌコトデハアリマセウケレドモ、要スルニ日本ノ品物ハ爲替關係、或ハ「コスト」ノ非常ニ安イト云フヤウナコトデ、値段ノ上ニ於テ外國品ヲ壓倒シテ、諸外國ニ脅威ヲ與ヘルト云フ地位ニ在ルノデアリマスカラ、或ハ「バーター・システム」モアリマセウシ、或ハ互惠關稅ト云フヤウナコトモアリマセウシ、色々ナル方法ハアリマセウ、或ハ三國間ノ爲替清算制度ヲ採用スルト云

フヤウナ手段モアリマセウ、又相手國ノ希望ニ依ッテハ、要スルニ値段ノ問題デ向フハ脅威ヲ感ジテ居ルノデアリマスカラ、吾國ニ於テモ品物ニ依ッテハ輸出關稅ヲ課シテ、相當ナ向フノ納得ノ出來ル程度ノ値段ニシテ、外國ニ出スト云フコトニナレバ、其手段モ考ヘ得ルコトデハナイカト思フノデアリマス、サウシテ今日ノヤウナ場合ニ於テ、此輸出關稅ヲ左様ナ意味ニ於テ新設シ得ル場合ガアルト致シマスレバ、其爲ニ大變ナ收入ヲ得ルコトト私ハ思フノデアリマス、値段ヲ安くシテ外國ヘヤルト云フコトハ、ソレダケ外國人ニ得ヲサセルト云フコトデアリマシテ、輸出關稅ヲ課ス場合ニ於テハ、其輸出關稅ダケヲ外國人ノ消費者ニ轉嫁スルト云フコトニナルノデアリマスカラ、私ハ貿易政策トシテ此點ハ現在ノ我國トシテハ、相當深イ考慮ヲ加フベキモノデハナイカト思フノデアリマスガ、政府ニ於カレマシテハ、ソレ等ノ點ニ向ッテ御調査ヲ進メテ居ラルルノデアリマスカラ、又嘗テサウ云フコトニ對シテ、御考ヲ寄セラレタコトハナイノデアリマスカラ、ソレ等ノ點ヲ一ツ承ッテ見タイト思ヒマス

○谷口政府委員 輸出稅ノ問題デアリマスルガ、是ハ只今色々通商ノ關係カラ致シマ

シテ、武田サンノ御話ニナリマシタヤウナ事情モ考ヘラレルノデアリマシテ、御尤デアアルノデアリマス、世界ニ於キマシテ輸出稅ト云フモノガ、大體廢リマシタカノヤウナ傾向ガ見ラレマスカレドモ、色々情勢ノ如何ニ依リマシテハ、廢ッタモノデアアルカラト云フノデ、之ヲ棄テテ顧ミナイト云フコトヲ致シマセズシテ、又更ニ研究スル、輸出稅ニ付テ其可否ヲ研究スルト云フコトハ、極メテ大切ナコトデアルト思フノデアリマス、吾々關稅ノ事務ニ從事致シテ居リマスル者ト致シマシテハ、此輸出稅ヲ歲入ノ立場、又內國資源ノ保存ノ立場ト云フヤウナ立場以外ニ、只今武田サンノ御話ニナリマシタヤウナ輸出統制ノ立場カラ、新ニ之ヲ檢討シテ行クト云フコトヲヤッテ行クトハ、極メテ必要デアルト云フ風ニ考ヘルノデアリマス、就キマシテハ從來ソレヲ研究シタコトガアルカト云フ點ノ御質問デアアルノデアリマスガ、是ハ昭和九年ニ――

今回此議會ニモ既ニ御協賛ヲ仰イダ關係ニアルノデアリマスカラ、通商擁護ノ法律ヲ作リマス際ニモ、輸出稅ト云フ問題ニ付テ多少考慮ヲ廻ラシタコトモ曾デアアルノデアリマス、爾來其問題ニ付キマシテハ、關係ノ方面トモ折々話題ニ上ルノデアリマシ

テ、今後トモ御話ニナリマシタヤウナ點ニ付キマシテハ、十分調査等ヲモ致シテ見タイト云フ風ニモ考ヘテ居ル次第デアリマス

○武田委員 關稅ニ關スル限り、私ノ質問ハ是デ終リマシタ

○金光委員長 是デ大體ニ於テ質問モ終了シタヤウニ思ヒマスガ、豫備金ノ承諾案ニ付キマシテハ御準備ヲ願ヒマシテ、明日願フコトニ致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後零時四分散會

昭和十一年五月十九日印刷

昭和十一年五月二十日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社